

Cmsdesigner 作り方のコツ(初心者用)

注) このやり方は独学であって、本来の手法的におかしい部分もあると思いますが、このやり方でxsl全くの初心者の私でも設置できるようになりましたので、恥をしのいで公開いたします。この素晴らしいツールを多くの方が使えますように。

■更新枠を作る場合の手順

※先に更新部分埋め込み先の画面を html ベースで作成しておく。

本来埋め込みデータが入る部分も直接 html タグや CSS で仮データを書いて作成。

作成方法に規制はないので、いつもと同じように作れば OK。

1) `cmsdesigner¥date¥entry` の下に項目名をつけたフォルダを作成。日記なら `diary` お知らせなら `news` とか。

(この名前は各ファイルで使いまわしするので明確な名前がよい)

アップロードの際はパーミッション変更(707)を忘れずに。

2) `cmsdesigner¥config¥site.config.xml` を秀丸で開く。環境設定を「UTF-8 で保存」に設定を変えておくと便利。

レファレンスを参考に更新枠を追加(新着情報、お知らせ、日記、レシピ など、カテゴリの名前)のち、アップロード。

※属性を 606 にする

<例>

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<site>
<manager>
<user name="*****" password="*****" />
</manager>

  <entries>
    <entry name="news" schema="news" caption="新着情報" />
  </entries>

</site>
```

※ 「entry name」「schema」とも 1) で付けた名前で OK。

ただし、一つの枠内の入力データを何種類かに抽出して複数設置したい場合は、違う名前をつける。

<例>コンテンツ管理画面「データ(data)」枠内で蓄積して入れたデータを「新着情報」と「お知らせ」の2種類に振り分けて出力させたいとき

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<site>
<manager>
<user name="*****" password="*****" />
</manager>

  <entries>
    <entry name="news" schema="data" caption="新着情報" />
    <entry name="info" schema="data" caption="お知らせ" />
  </entries>

</site>
```

※この場合、1)の `cmsdesigner¥date¥entry` の下に「news」フォルダと「info」フォルダを作ることになる。

サイト URL/`cmsdesigner/manager.php` にアクセスして実際のコンテンツ管理画面を確認。

3) cmsdesigner¥config¥schema の下に2)でつけた schema の名前と同じ名前のフォルダを作成。

このフォルダ内に「**同じ名前のフォルダ名.schema.xml**」の名前のxmlファイルを作成。

秀丸で開く。環境設定を「UTF-8 で保存」に設定を変えておくと便利。

レファレンスを参考に詳細項目を追加(タイトル、本文、日付、画像など)のち、アップロード。

※このスキーマ xml ファイルに加えた項目の分、管理画面の個別の入力枠が作成される。

4) 3)の「フォルダ名.schema.xml」と同じ階層に「**フォルダ名.デザイン定義名.design.xml**」を作成。

(デザイン定義名部分は自分で自由につける)

<例>

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<xsl:stylesheet xmlns:xsl="http://www.w3.org/1999/XSL/Transform" version="1.0">
<xsl:output method="html" encoding="EUC-JP" omit-xml-declaration="yes" />
<xsl:template match="/entry">
```

```
<table border="1">
<tr><td>件名</td><td><xsl:value-of select="title" /></td></tr>
<tr><td>本文</td><td><xsl:value-of select="body" /></td></tr>
</table>
```

```
</xsl:template>
</xsl:stylesheet>
```

※ヘッダ・フッタはレファレンスを参考に作成。

本文(太字部分)

【a】 あらかじめ作っておいた html の中の、データを埋め込む部分を html タグごとそのままコピーして張り付ける。

【b】 更新される文字部分は仮データを消して、<xsl:value-of select="title"/> 等の xsl タグに入れ替える。
定義方法方はレファレンス参照。

【c】 【a】でコピーした部分を html ファイルから消す。

6) 5)で修正した html ファイルを php ファイルに変換。EUC コードに変更。場所を index.html の直下へ移動。

※HP 作成ソフト内で移動させれば、リンクが切れないので便利

切り取った更新部分に、埋め込みタグを挿入。レファレンス参照のこと。

全てアップロード

7) URL/cmsdesigner/manager.php より管理画面を確認。

データをテスト入力し、出力 PHP ファイルにアクセスして確認。

<うまくいかない、エラーが出る時の原因>

・img 等のタグ内に、閉じタグの記号がない。(html からコピーするときは注意)

・各エントリ、スキーマ、デザイン定義ファイルの名前が合っていない。

・コード変更、属性変更がされていない。

・半角・大文字の違い、全角空白が入っていたり、タグの間に不必要な空白が入っているとエラーになることが多いので

なるべく参考文献にある例文をコピーして入れ替えるとよい。

・リスト一覧の場合と1件分のみの出力の場合、全ファイルにわたって表記が変わるので気をつけること。

pan_cafe: 拝